

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	1 グローバルロジスティクスの港	24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	企画調整室 バルク戦略担当課長
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化	事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7956 事業担当、工事課
個別施策名	04 在来貨物等取扱機能を充実する					
事務事業名	05 国際バルク戦略港湾の実現化に向けた調整 (【再掲】コード個11事06)	継続	維持	維持		
目的	大型船舶の活用等により、海上輸送や取扱機能の効率化を通じて、国内産業や国民生活に必要な不可欠な食糧等を安定的かつ安価に供給する。				事業期間	平成23~32年度
概要	北浜ふ頭の穀物取扱機能について、船舶の大型化への対応、取扱機能の更なる拠点化・高質化等により、アジア主要港と比べて遜色のない物流コスト・サービスを実現して、平成32年度を目標に食糧等の安定的かつ安価な供給を確保するための調整を行います。				根拠法令等	
					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	食糧等の安定的かつ安価な供給を目指して、船舶の大型化に対応した港湾施設の強化及び保管・生産機能の拠点化・高質化に向けた企業の支援策等の調整を図っていきます。				関連シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	穀物関連企業と船舶の大型化への対応について協議を行うとともに、地元関係者始め、関係業界団体、他の選定港とも一体となって、国に対し必要な予算確保や制度拡充の要望を行う等に取り組みました。また、関係行政機関及び本組合で構成する「名古屋港新食糧コンビナート検討会」において穀物ターミナルの拠点化・高質化に向けた企業の支援策等の検討を行いました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費計	千円			27,000	0	0	27,000	(款項目節)
一般会計	千円			27,000	0	0	27,000	(算出計算式)
事業会計	千円							(その他)
その他	千円							
人員費計	千円			31,463	20,483	20,586	72,532	
正規職員	人			3.65	2.35	2.35		
嘱託職員	人			0.00	0.00	0.00		
合計	千円			58,463	20,483	20,586	99,532	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	最終目標	32	備考(指標の算定方法など)
国際バルク戦略港湾推進協議会及び作業部会の開催(回)	目標			2	2	2			船舶の大型化に対応した穀物取扱機能の検討
	実績			1	1	0			
	達成率(単年度%)			50.0	50.0	0.0			
	達成率(累計%)			50.0					
関係行政機関との会議(回)	目標			2	2	3			国際バルク戦略港湾施策の実現に向けた国への要望のための選定港との協調 穀物取扱機能の拠点化・高質化に向けた企業の支援策等の検討
	実績			1	2	4			
	達成率(単年度%)			50.0	100.0	133.3			
	達成率(累計%)			50.0					
平成25年度までを総括した必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		大型船舶の活用等により、我が国の産業活動や食の安全・安心を支えている物資の安定的かつ安価な供給を図り、穀物産業全体の競争力強化、ひいては東海経済圏の地域活性化に貢献することから、必要性は高いと考えています。					
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
	目標を達成したか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> ×		引き続き、協議会等の会議を開催し、平成32年度を目標に実現するための調整を行います。					
	個別施策へ貢献したか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> ×							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		関係行政機関、穀物関連企業、本組合がそれぞれの役割を担い、効率的に会議の運営や協議を行っています。					
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続・統合	➡	➡	・目標年度に向けて、関係者と調整を図っていく必要があるため。 ・北浜ふ頭における新食糧コンビナート整備に係る事業として統合。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
環境影響評価調査、護岸構造の検討のための設計等、用地整備の事業化に向けた取組を進めます。				